

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員からお知らせします。

営農指導員の  
ワンポイントアドバイス

営農指導員 永奥 啓

お盆とお彼岸に  
ケイトウがよく売れる

経営上の特性

ケイトウは仏花としてお盆（8月）やお彼岸（9月）によく売れます。新しいタイプの品種ではテーブルに飾れるような花形のものもあり、安定した人気の花です。

この花は、露地での栽培になり施設が不要なことや、栽培に高い技術を要しないことから、入門者向きです。

ただし、価格はバラやカーネーションなどのようにはいかず、本数で稼ぐ花だといえるでしょう。



栽培のポイント

茎が細く、花もコンパクトな姿に作る必要があるため、比較的密植の栽培とし、肥沃な土地は避けるとともに、多量の肥料は禁物です。

作型

●お盆出荷  
4月下旬播種、6月上旬定植で、お盆頃の出荷にします。

●お彼岸出荷  
6月上旬に直播して、お彼岸頃の出荷にします。

栽培の方法

●お盆出荷

①育苗 4月下旬に育苗箱に播種し、種子が見えなくなる程度に覆土します。この時期はまだ気温が低いので、夜間はトンネルなどで保温します。

②定植 箱育苗した苗は、本葉が6枚くらいの時に10センチ間隔で植え付けます。

●お彼岸出荷

①育苗 6月上旬に直播し、発芽そろいの時に株間を10センチ程度に間引きします。

●いずれの作型も、よほどのやせ地または肥切れで葉が黄化するような場合以外、肥料はごく少量施用するか、または施しません。

病害虫

①立ち枯れ性病害

無菌の用土に播種することが大切です。

②害虫

アブラムシやヨトウムシに注意します。

問い合わせ

農業振興課 農業振興係  
0824・73・1132

第2話

比婆いざなみ街道物語



街道沿線に存在するさまざまな資源をシリーズでお伝えする「比婆いざなみ街道物語」。

第2話は「イザナミ伝説」についてお伝えします。

伝承される「イザナミ伝説」

イザナミノミコト（以下、イザナミ）の陵墓とされる「比婆山御陵」（美古登山）を、神体山（神の座す山）としてあつい信仰の対象としてきた西城町熊野地域の人々は、イザナミにまつわる伝説を語り継ぎ、伝承してきました。

はかなくも悲しい夫婦神の伝説

国生みの女神イザナミは、日本列島となる島々や山・海など多くの神々を生み、最後に火の神「火之迦具土神」を生んだとき、大やけどを負い亡くなってしまう。亡くなった妻・イザナミに逢いたい夫のイザナキノミコト（以下、イザナキ）は、黄泉（死）の国までイザナミに会いに行きます。しかし、そこにはひどく変わり果てたイザナミの姿が…。驚いて逃げまどうイザナキ、恥をかかされた怒り狂いながら追うイザナミ。イザナミは黄泉軍（黄泉の国の軍隊）を差し向

けますが、イザナキは御陵山頂の西側にある「飛越岩」を飛越えて、西麓の「越原」で黄泉軍を追い払いま

す。今度は自ら追ってくるイザナミ。イザナキは、立烏帽子山北側の中腹にある岩（千引岩）で道をふさぎます。二神はその岩に挟み、「い」とい夫よ。そのような仕打ちをなさるのであれば、あなたの国の民を1日に千人絞め殺しましょう」「いとしい妻よ。それならば私は1日に1500の産屋（出産のための建物）を建てましょう」と問答し、永遠の別れとなりました。

伝説の地を巡ってみよう

烏帽子山の西隣にある吾妻山は、イザナキが御陵に眠る妻イザナミをしのび、「ああ、吾が妻よ」と呼びかけた山だと言い伝えられています。



問い合わせ

いちばんづくり課いちばんづくり係  
0824・73・1278